

第9回日本モビリティ・マネジメント会議

●プレイベント概要（7 / 25(金)）

「地域づくりと交通を考えるシンポジウム in 北海道」

●企画趣旨

昨年、日本を訪れる外国人が初めて1,000万人を超え、北海道も初めて100万人を突破したなかで、いま、様々な交流が生まれており、将来を見据えた地域づくりが大切になっている。

地域の活力と経済は、ヒトの交流とモノの移動が支えており、特に北海道は、広大な土地に街々が分散していることから、移動の重みは他の地域に比べて大きくなっている。

これら様々な「ヒトとモノの移動」を上手に支えるには、効率や環境の面を踏まえつつ、適切な交通手段を選択できることが大切である。

地域の足を担う公共交通は、昨今厳しい状況にあるが、公共交通とその他の交通手段を、それぞれの長所やサービスの特長を活かしてかしこく使い分け、地域を元気で明るくする取組を考えるため、シンポジウムを開催する。

●プログラム

基調講演 10:00-12:00

講演1:「人に、街に、環境に優しい交通」

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授 石田 東生 氏

講演2:「地域の交通と、地域の強靱化」

京都大学大学院 工学研究科 教授 藤井 聡 氏

パネルディスカッション 13:00-14:10

テーマ:「地域を支える交通!～地方バスの役割と今後の展望～」

コーディネーター

横浜国立大学教授 中村 文彦 氏

パネリスト

十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 氏

両備ホールディングス株式会社 代表取締役専務 原 雅之 氏

北海道運輸局 企画観光部長 渋谷 容 氏